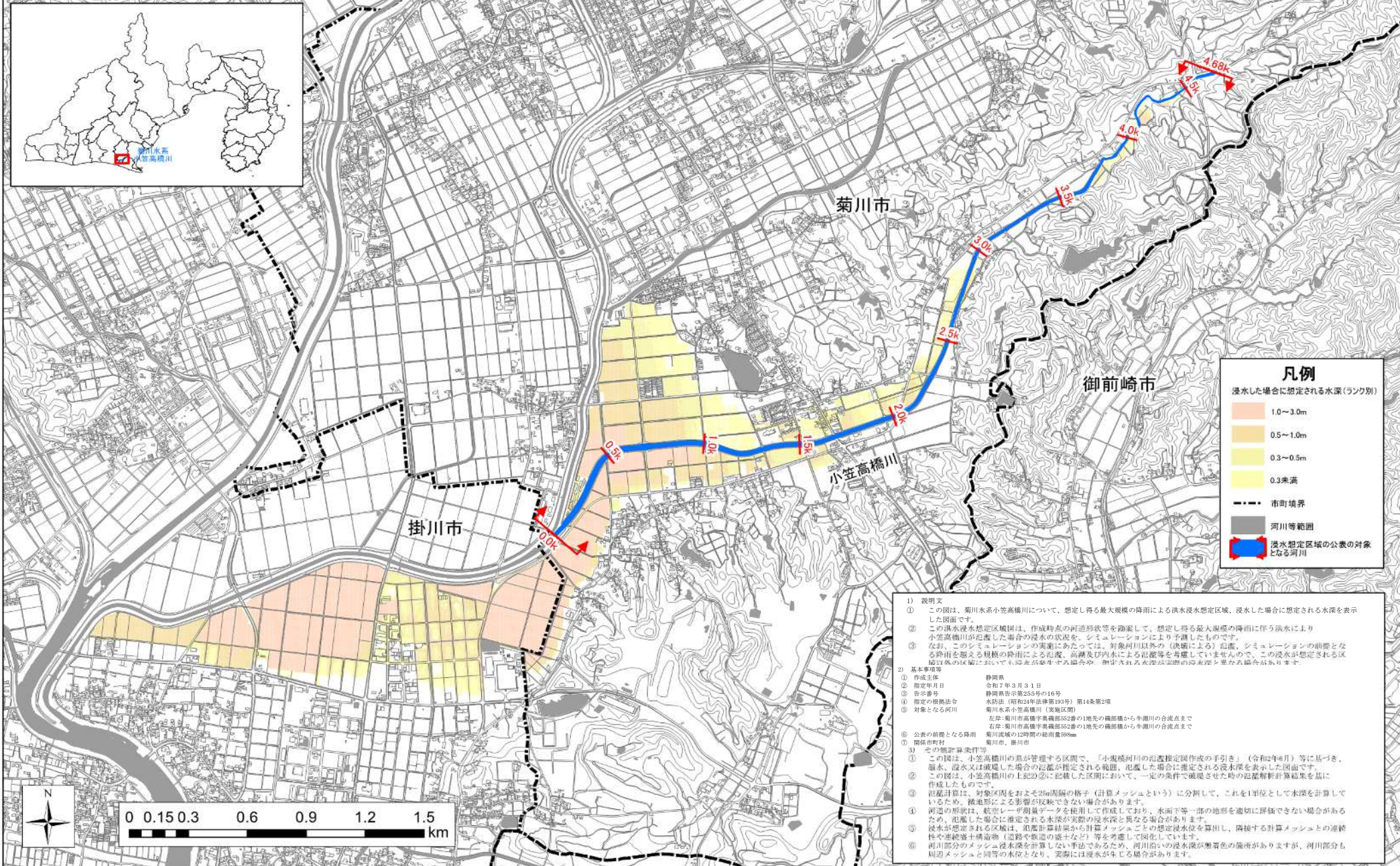


# 菊川水系小笠高橋川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



1) 説明文  
 ① この図は、菊川水系小笠高橋川について、想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。  
 ② この洪水浸水想定区域図は、作成時点の河道形状等を踏襲して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により小笠高橋川が氾濫した場合の浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。  
 ③ なお、このシミュレーションの実施にあたっては、対象河川以外の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を越える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域21%の区域についても浸水が毎年発生し得る場合や、想定される水深が実際の氾濫時と異なる場合があります。

2) 基本事項等  
 ① 作成主体 静岡県  
 ② 指定年月日 令和7年3月31日  
 ③ 告示番号 静岡県告示第253号の16号  
 ④ 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項  
 ⑤ 対象となる河川 菊川水系小笠高橋川(実施区域)  
 左岸:菊川市高橋字奥部52番の1地先の橋脚部から牛瀬川の合流点まで  
 右岸:菊川市高橋字奥部52番の1地先の橋脚部から牛瀬川の合流点まで  
 菊川流域の12時間の総雨量598mm

⑥ 公営の前夜となる降雨 菊川市、掛川市  
 ⑦ 関係市町村 菊川市、掛川市

3) その他計算条件等  
 ① この図は、小笠高橋川の我が国が管理する区間で、「小規模河川の氾濫想定図作成の手引き」(令和2年4月)等に基づき、洪水、浸水又は氾濫した場合の氾濫が想定される範囲、氾濫した場合に想定される浸水深を表示した図面です。  
 ② この図は、小笠高橋川の上記2)②に記載した区間において、一定の条件で模擬させた時の氾濫解析計算結果を基に作成したものです。  
 ③ 氾濫計算は、対象区間をおよそ20m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。  
 ④ 氾濫の解析は、数値レイ・モデル・メッシュを使用しており、水面上等一部の地形を適切に評価できない場合があります。氾濫した場合に想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。  
 ⑤ 浸水が想定される区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水深を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続壁・構造物(道路や敷地の壁など)等を考慮して図化しています。  
 ⑥ 河川部分のメッシュ浸水深を計算しない手法であるため、河川沿いの浸水深が無着色の箇所がありますが、河川部分も周辺メッシュと同等の水位となり、実際には浸水が生じる場合があります。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 5JHs 61」  
 ※A1版出力時は1:8750、A3版出力時は1:17500